

「次期中期目標・中期計画の策定に当たって」

大学評価フォーラム 2008. 7. 7

大学基準協会特任研究員
国立大学協会調査研究部前プロジェクトリーダー
生 和 秀 敏

○ 第一期・中期目標・中期計画の問題点

- 1、法人評価と認証評価の区別がされていない。
法人評価の目的は説明責任（アカウンタビリティ）
認証評価の目的は質保証（アクレディテーション）
- 2、中期目標に各大学法人の個性が表れていない。
長期目標との整合性が十分ではない。
- 3、中期計画が総花的で、構造化されていない。
現況分析と目標・計画とが乖離している。
- 4、事業期間内に達成する見込みのないものまで含まれている。
- 5、資源（ヒト・モノ・カネ）の投入計画が示されていない。

○ 第二期・中期目標・中期計画の策定に当たっての留意点

- 1、中期目標・中期計画は、大学法人と国との間の契約である。
目標設定は法人の自己裁量、目標達成は法人の自己責任。
- 2、伝統・規模・実績などを踏まえ、達成可能なものを盛り込む。
構成員が現状を自己点検・評価することから始める。
評価結果を計画に繋げる戦略決定部門を強化する。
- 3、目標達成の可能性は「意気込み」ではなく「資源」にある。
資源の裏付けのない目標・計画は、盛り込むべきではない。
- 4、中期目標は長期目標を実現するためのマイル・ストーン。
長期目標を構成員が共有することが重要である。
- 5、全ての活動を目標・計画に盛り込む必要は全くない。
取捨選択が出来ることが自己管理能力の証である。